



▲ 郷土歴史資料館の学芸員による  
瓜生、中川にある横山古墳群の現地調査

**郷土の歴史とは**  
郷土とは「自分が生まれた土地」を意味し、歴史は「人間社会が時間の経過とともに移り変わってきた過程とその中での出来事」という意味です。つまり、郷土の歴史とは「自分が生まれた土地の成り立ちの過程や出来事」を指します。しかし、タイムマシーンを持たない現代の私たちは、そのような過去の過程や出来事を、直接見ることはできません。では、どのようにすれば知ることができるのでしょうか。私たちの生活の中で、最も多くの情報をもたらしてくれるのが文化財です。文化財とは「先祖様が作り残してくれた、みんなの宝物」で、大まかには13種類に分類されます。

文化財の種類やその対象

種類	内容
1 建造物	歴史的な建物やお寺、神社、個人の家などが対象
2 絵画	紙や布に描かれた絵、絵巻物、版画などが対象
3 彫刻	木や石などを彫って作ったもの、仏像などが対象
4 古文書・典籍・書跡	昔の書類や手紙、日記、古い書籍などが対象
5 工芸品	2、3以外の芸術品。刀や鎧、陶磁器などが対象
6 考古資料	地面から出てきたもの。土器や石器などが対象
7 歴史資料	1～6以外の歴史に関するもの。写真などが対象
8 民俗	衣食住や芸能に関すること。お祭りや民謡、民具などが対象
9 史跡	歴史的に価値のある土地や場所、古墳、城跡などが対象
10 名勝	景色のいい場所。山、海岸、庭などが対象
11 天然記念物	自然のもの。動物や植物などが対象
12 文化的景観	当該地域の風土によって形成された景観が対象
13 伝統的建築群	周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建築群が対象

**その土地ならではのもの**

図のように、文化財とは、人為的なものから自然まで、ありとあらゆるものが対象となっています。これが私たちの土地にたくさん残っている。残っているほど、「その土地の成り立ちの過程や出来事」、つまり私たちの先祖が、どのようにしてこの土地を作り上げていったかが分かります。

**次の世代へ受け継ぐ**

北陸新幹線芦原温泉駅の開業により、県外から大勢の人たちがあわら市を訪れることでしょう。訪れたときに何を求めるかと言えば、きっと「その土地ならではのもの」なのではないでしょうか。特別なものだけでなく、地元の方が誇りに思っている郷土の歴史や周りにあって当然だと思ってきた自然、文化などにこそ大きな関心を持つのだと思います。地域の文化財を大切に保護し、県外の人から尋ねられたときに「うちの村にはなんもないぞ」ではなく「うちの村にはこんなすごいものがあるんやぞ」と地元自慢をしていきましょう。

金津本陣（OSSA 2階）にある郷土歴史資料館では、郷土の歴史を紹介する「出張講座」や、文化財保護の助言などを行っています。地区の歴史や文化財について、知りたいことや分からないことがあれば、お気軽にご連絡ください。資料館の学芸員がお伺いして相談に乗ります。郷土の歴史を知ることが出来る地域の文化財を、次の世代へ大切に残していきたいでしょう。次のページでは、学芸員をご紹介します。

皆さんは、ふるさとの歴史について、考えたことがありますか。はるか昔、この地は、どのような場所だったのか、考えたことはありませんか。

今回は「郷土の歴史」をテーマに、その重要性について迫ります。さらに、あわらの歴史をひもとき、後世に伝えるため、日々奮闘している郷土歴史資料館の学芸員を紹介します。

大切なふるさとを知り、守り抜くため「郷土の歴史」について考えてみましょう。

**郷土の歴史を未来へ**



火起こしの体験をする親子  
(金津創作の森)



展示物について市民に解説  
(郷土歴史資料館)



金津奉行所についての講演会  
(郷土歴史資料館)



千束区にある県指定史跡  
「千束一里塚」